

# 第1回 里山プランワークショップ結果 概要

## Aグループ

### ○生き物

- ・希少な生き物が生息する里山は、自然財産であり、守っていききたい。
- ・堀越川で、ホタルが生育する環境づくりを考えたい。

### ○畑等

- ・畑をやっている。長久手は丘陵地があり、自然が素晴らしい（風光明媚）。
- ・「旬」があり、声掛けをしてくれる「人情」、「ふれあい」があることが素晴らしい。
- ・貸す人と借りる人の絆ができる。
- ・野菜作りを、趣味から、市場に左右されない（ふれあいを重視した）軽トラ市などの販売へと展開したい。

### ○エリア別の特性と紹介

- ・自分が関わる里山しか知らないが、各地域の自然活動を市民に知ってもらおうとよい。
- ・エリア別のマッピングをして、市民に紹介したい。

### ○人

- ・福祉のまちとして、障がい者や子どもと親など、人のつながりを重視してほしい。
- ・里山を、近隣の子供たちにとって、生きた教科書となるような遊び場として機能させてほしい。  
そのためには、人の手を入加えて保全と活用をしていかなければならない。
- ・障がい者や親子を支援し、農と里山を連携させたい。親子のかかわれる場面をつくりたい。
- ・長久手に転居してきた市街地の子どもたちに、里山の体験をさせたい。

### ○その他（手入れ）

- ・今は里山が荒れている。竹が進出し、手入れされていない土地もあり、今後の対応が問題。
- ・里山は維持管理が大変である。
- ・民有地の対応が課題。



## ●長久手の自然をうまく残して、市民が集まれる場所づくりができるるとよい 体験活動、特に自然観察を行える場所が増えるとよい

- 行政として ・田園バレー構想 ・平成子ども塾（子どもファーム・収穫体験）  
・まちなか農園 ・総合計画（キーワード：つながり・みどり・あんしん）等



### ◆平成こども塾を活かし、里山にかかわる機会を作る

➡福祉・健康と里山管理を連携

### ◆長久手のまちづくりの方向と整合させる

(総合計画との整合性と大学連携)

体験

+

参加

+

共有

里山にかかわるテーマを考える必要がある

- ・体験として、「里山を学ぶ」→学びの場としての「大人塾」など
- ・参加として、「里山を通じた人のつながりづくり」→親子の参加を募る
- ・共有として、「市民参加を通じた楽しさを発信」→市民への広報、情報発信

フィールドは

**里山**

=長久手の魅力。自然を残すため、モデルエリアで展開

**農**

とセットで

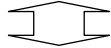
➡ 活動のためのマッピングとスケジュールが必要

楽しくなければ里山づくりじゃない！！

## Bグループ

### ○人・しくみづくり、団体との協働

- ・人・しくみづくり
- ・他の団体と一緒に活動
- ・継続的に里山を保全していく上で、団体の世代交代が不可欠
- ・親子で一緒に作業することが前提になる



### ○里山の楽しさ、市民が楽しめる（身近に感じられる）こと

- ・子どもが遊ぶことができる（遊具もあるとよい）
- ・里山の楽しさを市民にアピールする
- ・里山を生活に密着した身近なものにする
- ・人と動物とが共に暮らせる地域づくり

### ○民有地の問題

- ・民有地が多く、里山を守ることができるか心配
- ・所有者との交渉が必要
- ・所有者が売却したい場合は、市で買って管理してはどうか
- ・私有地の公有化または借地化による里山としての整備
- ・整備には、ほどほどの広さが必要。しかし、広すぎると難しい
- ・モデル的な地区としての整備と、それ以外の地区の取り扱い

### ○里山としての整備と活用

- ・里山が竹林化し、荒れ放題である（南部は別である）
- ・栗拾いや竹の子掘りは人気がある
- ・親子での稲作（田植え、稲刈り、脱穀、餅つき）
- ・竹林の整備促進、放置された山林の整備促進
- ・日常の里山整備点検作業
- ・親子でのキノコ作りやキノコ狩り



### ○長久手の南部地区と東山地区（平成子ども塾周辺）では里山の性格が異なるので、比較してはどうか

南部地区：各種の里山体験

平成子ども塾周辺：散策・回遊性

（三ヶ峯地区：紅葉がきれい）

## Cグループ

### ○疑問

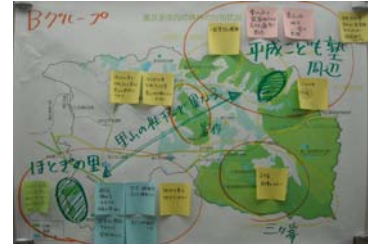
- ・どこを利用できるのか？
- ・里山保全とは？
- ・人の土地だと入りにくい

### ○里山に対する感想（自然を感じたい！）

- ・木の根が残っていて危険
- ・催事の際は駐車場が必要
- ・散策路としての整備への期待と安全確保の必要性

### ○課題、困りごと

- ・獣害（イノシシの出没）
- ・小川や井戸水の枯渇、畑への水やり作業（井戸の設置を市に提案したい）
- ・土取業者との話し合いと管理代行
- ・放置された竹林
- ・耕作放棄地



## ●里山での外遊びの楽しさ、収穫の楽しさ、自採りのものを食べる楽しさ

### ○市民への周知（マップづくり等）からイベントの展開へ

- ・幅広い市民に関心を持ってもらう
- ・みんな里山を知らない  
(三ヶ峯地区では、市民記者やシニアクラブ会報、ブログによる発信、Nバスにポスター掲載)
- ・ほとぎの里（南部地区）を知らない
- ・市民農園の案内、拡大
- ・里山で楽しいイベント（音楽や食）をする
- ・里山の伝統行事で盛り上げる
- ・グリーンマップづくり

➡市民との関わりの明確化

### ○耕作放棄地の活用

- ・放棄された田んぼの活用
- ・三ヶ峯：市道の草刈りや市道の整備をして「道造った」

### ○市民と市の協働

- ・里山のイベント
- ・住民たちで整備や管理
- ・希少動植物の記録と管理、生態調査
- ・貴重な環境の保全

里山とは？  
勝手に入っていいの？

